



# コモンズ30 +しずぎんファンド

(月次報告書)



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2018年8月31日付)

基準価額	13,345円
純資産総額	568百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して  
います(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」を  
ご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の  
増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成  
基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

## ● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

## ● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2018年8月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲1.80%	▲2.48%	▲1.12%	11.37%	29.51%	33.45%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.9%	0.7%
静岡銀行株式	8.0%	0.0%
現金等・その他	0.1%	▲0.7%
構成銘柄	31社	0社

## ● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

### ◎8月のファンド月間リターンとその要因

8月のマザーファンドの月間リターンは、1.39%の下落、当ファンドの月間リターンは1.80%の下落となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「旭化成(+9.36%)」、「楽天(+8.01%)」、「丸紅(+7.15%)」となりました。旭化成は、2019年3月期第1四半期の好調な決算と上期の業績計画の上方修正が好感されました。楽天は、営業利益が1-3月の前年同期比30%減から一転、4-6月はフィンテック事業の好調などで同2.2倍と急回復し注目されました。丸紅は、第1四半期の当期利益が前年同期比62%増と大幅に増加し、通期会社計画に対する進捗率が38%と高まったことが好材料となりました。

下位3銘柄は、「ベネッセHD(▲14.51%)」、「リンナイ(▲14.39%)」、「カカコム(▲12.67%)」となりました。ベネッセHDは、第1四半期決算で営業利益が赤字転落したことが失望視されました。リンナイは、国内販売の苦戦で、第1四半期の営業利益が2ケタ減となったことが悪材料となりました。カカコムは、第1四半期の営業利益が前年同期比9%増でしたが、株式市場の期待に届かず嫌気されました(前期の第4四半期は同15%増)。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は4.84%の下落でした。

シニア・アナリスト 上野 武昭

### ◎運用責任者メッセージ

8月の内外金融市場は、米中貿易摩擦に対する懸念に加え、トルコリラの急落を背景とする世界的なリスクオフが見られましたが、米国とメキシコとの間でNAFTA再交渉がまとまったことなどから米国株が反発し、S&P500、ナスダックが史上最高値を更新するなど目まぐるしい展開でした。

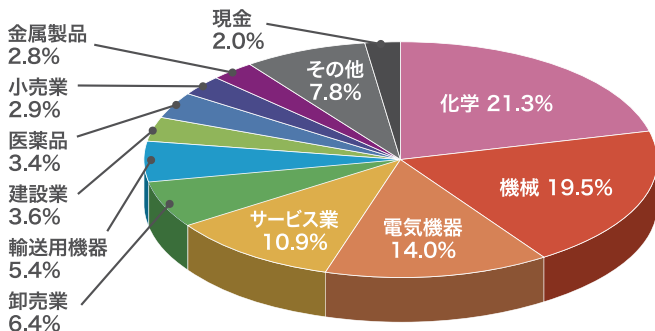
国内株式市場でも、世界的なリスクオフの流れから日経平均株価も22,000円を割り込むなどしましたが月末には米国株高を受けて戻り歩調となりました。業種別では、パルプ・紙やサービスなどの好業績株が買われました。

当ファンドでも業績好調なユニ・チャーム、旭化成が上場来高値を更新し13社の株価が上昇しました。一方で17社の株価が値下がりし、結果として月間騰落率ではTOPIX(東証一部株価指数)や日経平均株価を下回り1.80%の下落となりました。9月は自民党総裁選挙など政治的なイベントもありますが、秋相場では好業績企業の株価修正が起きると考えています。業績好調な銘柄が多数を占める当ファンドに、引き続きご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

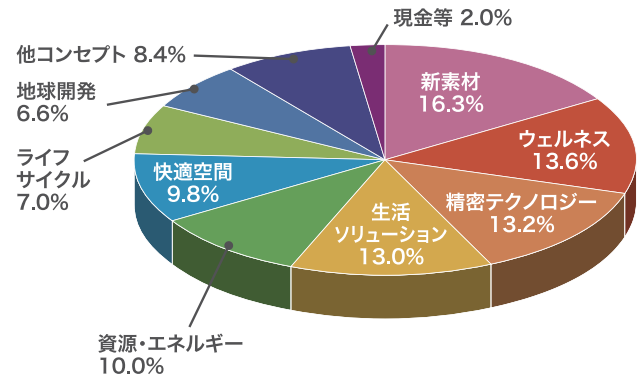
## ● コモنز30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

### ◎業種別構成比



### ◎未来コンセプト別構成比

(2018年8月31日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2018年8月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	4.0%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.9%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	3.8%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ	3.7%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.7%
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.7%
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.7%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.7%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。  
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピック!

8月は旭化成の株価が9.36%上昇しました。2019年3月期第1四半期の決算が好調で、会社側が上期の営業利益計画を減益(前年同期比8%減)から増益(同5%増)に上方修正したことが好感されました。業績の牽引役は、主力のケミカル事業です。樹脂や合成繊維の原料となるAN(アクリルニトリル)の採算が想定以上に向上しています。中国の環境規制の影響で中国メーカーのANの工場稼働率が落ち、市場でのANの供給余力が乏しくなっていることがプラスに働いています。そのほか、リチウムイオン二次電池用セパレータ(電池部材)や医療機関向け除細動器、着用型自動除細動器「Life Vest」などが利益増に貢献しています。同社は、化学、住宅、繊維、エレクトロニクス、医薬・医療、建材など多くの事業を手がけています。それぞれの事業においては得意領域に経営資源を集中し高付加価値化が進んだビジネスモデルを構築しています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

## ● 企業との対話

### commons30塾 統合レポートワークショップ「堀場製作所」

1.いやならやめる 2.おもしろおかしく 3.出る杭になれ!

この中に、commons30マザーファンド投資先企業の社是が一つ含まれています。

はい、答えは「おもしろおかしく」、堀場製作所です。8月24日、滋賀県大津市にある同社のびわこ工場E-HARBORで、「統合レポートワークショップ&びわこ工場E-HARBOR見学」が実現しました!

統合レポートワークショップを関西で開催するのは初めて。また、びわこ工場E-HARBORは2016年5月より本格稼働した主力の自動車排ガス測定装置の開発・設計・生産を一貫して行う大規模施設です。

そもそも統合レポートとは、企業の売上などの財務情報と、環境や社会への配慮、知的資産から、ガバナンスや中長期的な経営戦略までを含む非財務情報をまとめたものです。これをグループワーク形式にて読み解いていく、commons30塾で毎年開催しているイベントで、2011年に第1回目を開催して以来、今回は7回目、10社目となります。各社からご担当者をお招きして、レポートに込めた企業の想い、製作過程での裏話など参加者のみなさまが企業の生の声を聴き、企業は皆さまからの意見・提言に耳を傾けるライブ形式の「直接対話」「意見交換」の場となっています。

統合レポートワークショップ・工場見学について続きはこちらからお読み下さい。(写真もたくさん掲載しています)

[https://park.common30.jp/2018/08/blog-post\\_31.html](https://park.common30.jp/2018/08/blog-post_31.html)

統合レポートワークショップと、びわこ工場見学を通して感じたのは、まさに社是「おもしろおかしく」という企業文化の浸透です。今回IR担当としてイベントにご協力頂いた社員さまの中にまだ入社1ヶ月の方がいらしたのですが、「入社してびっくりしたのは、朝会などの場でどンドン発言が求められることです。色んなメンバーにたくさんのチャンスが与えられ、役職などに捉われないチャレンジが出来る会社だと実感しています」とおっしゃっていましたが、まさにそうした文化が、同社の成長と進化を支えているんだな、と実感しました。

その他、M&Aの秘話等、30塾の詳しい内容はレポートにてお伝えする予定です。

投資先企業、受益者(お客さま)、commons投信の3者が対話を通じて価値の共創に取り組むこうした場を今後も多く作ってまいります。



びわこ工場E-HARBOR見学

マーケティング部 福本 美帆

## ● ちょっといい話

### 【リーマンショックから学ぶべきこと】

2008年9月15日、米国の証券会社リーマンブラザーズが経営破たんしたことをきっかけに世界規模での金融危機が発生しました。この「リーマンショック」から丁度10年を迎えます。

未曾有の金融危機を教訓に、この10年間で私たち生活者の資産形成はどのように変わったのでしょうか。当時、株式や投資信託で資産運用されていた方々には、とても大きなショックだったことでしょう。しかし、振り返ってみると長期的にはリーマンショックも私たち人類はしっかりと乗り越えてきたことが分かりますし、資産形成においてはむしろ大きなチャンスだったとも思います。

例えば、国内市場だけみてもリーマンショック直後は日経平均株価も7,000円程度にまで下落しましたが、現在はその3倍以上の株価になっています。また、東証上場の企業数も約2,400社だったのが現在3,600社を超え、上場企業数は約1.5倍になりました。新たに上場した企業も多く、資本市場はこの10年間で大きく成長したと言えます。

この間、個人金融資産は約1,500兆円から約1800兆円と1.2倍。

資産別シェアでは株式が約6%から11%ですが、投資信託は3.4%から4.0%に留まっています(出所:日本銀行資金循環統計などから当社作成)。この数字から、この10年間で資産形成においては資本市場の拡大を上手く活かせていないと思われる。

一方で、政策的な対応は格段に進みました。2014年から導入されたNISA(少額投資非課税制度)の導入を皮切りに、ジュニアNISA、iDeCo(個人型確定拠出年金)、2018年からのつみたてNISAと資産形成を後押しする非課税制度は矢継ぎ早に導入・拡充されました。この結果、NISA制度全体で約1,200万口座が開設され約14兆円の買い付けが行なわれています。

このように100年に一度と言われた金融危機を乗り越え、資本市場は拡大しています。将来こうした危機が訪れることがあるかもしれませんが、私たち生活者がリーマンショックから学ぶべきことは、長期的な資産形成を実現させるためには外部環境に一喜一憂することなく、制度を活用して長期・積立・分散を続けていくことの大切さを教訓とすることではないでしょうか。



コモنز投信株式会社  
代表取締役社長 伊井 哲朗



## ● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

<b>価格変動リスク</b>	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
<b>流動性リスク</b>	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
<b>為替変動リスクおよび カントリーリスク</b>	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

## ● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

## ● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

**03-3221-8730**

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>